



NO. 3 8 3

# パンと光

E-Mail : [taniyama-cc@lagoonne.jp](mailto:taniyama-cc@lagoonne.jp) URL:<http://www5.ocn.ne.jp> ~

発行人：頭島光神父 編集委員：上原敏子、上釜照美、徳永珠美

2021年8月1日

(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

〒891-0113

鹿児島市東谷山 2-33-13

TEL・099-268-2084

FAX・099-284-5738

## 「わたしが命のパンである」

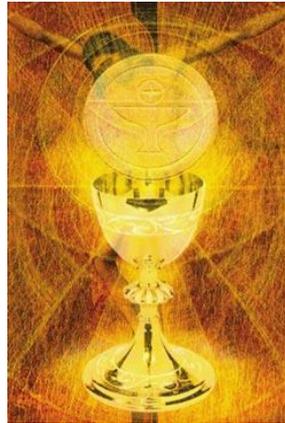
カトリック谷山教会 主任司祭 トマス頭島光



8月になりました。この時節はやはり世界と人類の平和について考える時です。イエス様が「平和」について語る言葉はかなり過激です。「平和でなく、むしろ分裂だ！」(ルカ12:51参照)と言うからです。なぜか。おそらく、見せかけの平和なら意味がないからでしょう。では、真の平和とは何か。イエスはそのために来たと言うのですが、分裂とは何を意味するのでしょうか。この衝撃的な言葉とは別に、イエスは、この世に來られたわけを「正しい人のためではなく罪人である」(ルカ5:31-32参照)とも言っています。そこから真の平和を探っていきましょう。

### ◆信仰感覚

信仰感覚とは間違えることがない、永遠からあふれてくる神秘です。私たちはその信仰感覚に触れたとき、喜びに満たされるのです。信仰とは神から与えられた恵みの賜物だからです。ですから、ここは感覚と言っても、個々人の信仰的なセンスのことではありません。何かを信じるというとき、それは私の思い、考えとは別次元から流れ出るものだからです。神は、この世界の外側に超越して存在しておられるお方ですが、そのお方がこの世界に降りて來られるのと同じように、その信仰にも誤りなく、そこから溢れて来て、私たちの心を満たすのです。真の平和の感覚はまさに賜物です。



けられなくともいいと思ってしまう弱さがあることを私たちは知るべきです。神は私たちの思いとはいつも違うところであって、常に人の益になることを望んでおられるからです。神はすべての人の救いを望み、だれ一人として取り残さないお方だからです。私たちも同じ思いでイエス様を眺めるとき、だれ一人として取り残さないという、愛の姿勢を見るでしょう。その実現のために、どうか私を働かせて下さいますように祈りましょう。

### ◆感謝と恵み

私が感謝するというとき、それは何に対してそう思うのですか。親切にしてもらった、あなたに対して感謝するのでしょうか、それならそれは当然のことです。しかし、ここでいう感謝とは、人の親切やありがたいことでなくとも、感謝することです。つまり、感謝とは単に心情的な事柄に限らない、特別な感謝の心があるのです。それが先程の信仰感覚と同じものですが、上からくる感謝の思いです。苦しみもまた神からの恵みと知って感謝することがあったなら、それはもはや日常の「ありがとう」とは、既に違うものです。平和な気持ちになることもまた、そのような神からの恵みの賜物なのです。



### ◆最高のお恵み

すべての命は神からのお恵みであり、何ものにも替え難く尊いものです。人は神がお造りになられ、命の息を吹き込まれたからです。しかし、その命が光を失い、塩味を失ったら一体どのように復活させられるでしょうか。もはや人の力ではどうしようもありません。しかし、神の愛は不滅且つ永遠ですから、人を闇の中に放り出すことはありません。何とかして救い出そうとなさいます。その方が天から下ってきた生きたパン、つまりイエスご自身です。この方なら、真の平和をもたらして下さるはずです。



### ◆天からの真のパン

私たちはこの方のみことばを聞き、いただいています。それはこの上ない救いの神秘、福音の喜びです。もはやこの方の声を聞かずして、生きていくことは考えられません。光であり、塩であるこの方の言葉が私の中で生きているからです。塩味は他者に対する愛の行動、奉仕の心です。こうして真の平和は私の中のキリストへの信仰と愛から伝達されていくのです。

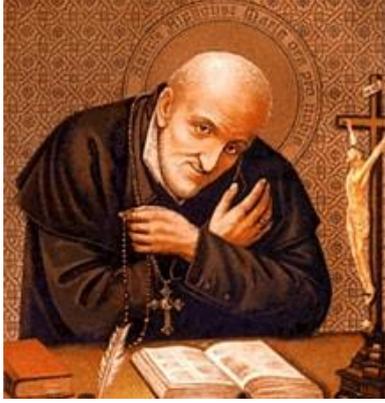
### ◆誰一人取り残さない

あの人は大切な人だから助けねばならないが、この人は助

8月1日 聖アルフォンソ・デ・リゴリ教会博士（記念日）

聖アルフォンソ・デ・リゴリの教会博士宣言から 150 年

聖アルフォンソ・マリア・デ・リゴリが教会博士として宣言されてから 150 年を記念し、教皇フランシスコは、同聖人が創立したレデンプトール会に宛てメッセージをおくられた。



聖アルフォンソ・マリア・デ・リゴリ司教・教会博士(1696-1787)は、イタリア・ナポリに生まれた。教育と学識に恵まれた彼は、若くして弁護士となったが、ある裁判において正義をめぐり大きな失望を味わったことが、

世俗を離れ、神に自らを奉獻するという自身の真の召命に目覚めるきっかけとなった。

1726 年、司祭に叙階された彼は、当初ナポリの街の最も貧しい地区の人々と交わり、説教や要理教育を行っていた。しかし、ナポリ王国内の辺境地の住民のより厳しい生活と司牧の欠如を知った彼は、これらの貧しく疎外された人々の救霊のために修道会を創立。当時の政治・社会状況から来る困難と闘いながらも、宣教と奉仕に尽力した。

1762 年、教皇クレメンス 13 世は、アルフォンソ神父の固辞にも関わらず、彼をサンタガタ・デ・ゴーティの司教に任命した。以来、彼は 1775 年に健康上の理由で引退を認められるまで、司教として、教区民の霊的生活はもとより、貧しい人々への奉仕のために邁進した。

優れた倫理神学者として多くの重要な著作を残したほか、音楽の素養に基づき、"Tu scendi dalle stelle"(あなたは星から降りてくる)などの聖歌を作曲した。 ~中略~

パンデミックの現在と、その後の就労問題、すべての人に対するケアの保証、いのちの保護、人工知能がもたらす影響、環境保護、民主主義に対する脅威、兄弟愛を育むことの急務など、今日の社会の多くの課題を教皇は示しながら、福音宣教の取り組みにおいて、貧しい人々の叫びと大地の叫びを切り離すことがないようにと願われた。

人間のもろさに対し、使徒的、倫理的、霊的な答えを追求するために、あらゆる文化のすべての要求に建設的な対話をもって臨んでほしいと、教皇はレデンプトール会関係者らを励まされた。 —Vatican news より—



一緒に祈りませんか



直 康江

一緒に祈りませんか。毎週火曜日 AM10 時からロザリオの祈りを祈っています。この祈りの集いは、もう何十年も前、今は亡き大松神父様がレジオ・マリエの指導司祭の頃、レジオ・マリエの一使徒職として皆のために「御助けの聖母の前で祈りましょう」と始められたと記憶しています。それから何十年も毎週休むことなく続けられています。祈りに休みはありません。神様が必要としていたら時間は与えられるものだと感じ、今 10 名程の方が一つに集い、休むことなく共に祈れる事に感謝しています。もし祈ってほしいことがあったら共に祈りましょう。

参加できる時だけで良いのです。コロナ禍の今、祈りのうちに信頼の力を頂きましょう。私たちが二、三人集うところに神様は必ずおられます。



ロザリオの祈りの会



できないこと  
できない、という仕事の半分は、実は「やったことがない」のだ。  
そのまた半分は、本当を言うとその仕事を「やりたくない」のだ。  
愛のためなら、できなかったこともできるようになるのは  
ここに理由がある。

ハンス・ハヌス神父様

— 心に残ることばより —



## 2021年8月の＜公開ミサ＞の予定と典礼奉仕のお願い

◆いよいよ8月、本格的な夏の始まりです。今年もまたコロナ禍の中での夏となります。熱中症に心配りしながら、コロナ感染にも万全な対策を緩めることなく、一日も早いコロナ収束を祈り続けましょう。今後もミサだけは、しっかりと続けていきますが、今月もまた皆様のご協力を得て、以下のように典礼奉仕表を作りました。引き続き、よろしくお願いいたします。

◆主日のミサは、日曜の午前9時、前晚土曜の午後7時、そして日曜早朝午前6時半です。分散して参加して下さい。

◆入堂前の手指消毒及びマスク着用は定着しました。これに加えて、先月から検温と氏名、連絡先を書いております。今後ご理解、ご協力願います。

◆三密回避として聖堂内への入場制限は50人です(\*但し、典礼奉仕者を除きます)。

◆この人数を超える場合は、玄関ロビーでお願いします。また泣部屋は子ども連れ家族のみとします。

◆聖堂内では白印を前に、ご着席ください! ◆換気及び加湿を同時に行っています。

◆聖体拝領は一列に並び前後間隔1m以上あけて前へお進みください。

■8月の典礼奉仕の先唱及び朗読の役割分担は以下の通りです。

宜しく  
お願いします

◇ 8月1日 年間第14主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 6/7班

◇ 8月8日 年間第15主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 8/9班

◇ 8月15日 年間第16主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 10班

◇ 8月22日 年間第17主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 1班

◇ 8月29日 年間第21主日 午前9時～ライブ配信ミサ 先唱及び朗読奉仕 ● 2/3班

★「すべての命を守るために」、今、私たちにできる初めの一步として祈ることから始めましょう。8月6日「主の変容」の祝日から、平和旬間が始まります。15日の被昇天では特に心からマリア様とともに世界の平和を願いましょう。コロナ禍で苦しむ人、悲しむ人、またすべての難民たちのために祈りましょう。多くの幼い子どもたちが命の危険に晒されています。国から排除され、暴力や残虐な目に遭わされて泣いているからです。どうか、そのような殺戮や不正が繰り返されることなく、人権と自由を奪われるような非人道的行為もなくなり、無関心も捨て去られますように、ともに支えあい、祈りの内に連帯し、希望の光で照らし、愛の手を差し伸べましょう。神に感謝!

(2021/8/1) 主任司祭 トマス頭島光



### マザーテレサの名言集より

★平和は、笑顔からはじまります。

あなたに出会った人が皆最高の気分になれるように、親切と慈しみを込めて人に接しなさい。あなたの愛が、表情やまなざし、微笑み、言葉に現れるようにするのです。

★説教して聞かせても

それは人と触れ合う場にはなりません。ほうきを持って誰かの家をきれいにしておいてごらんください。そのほうがもっと雄弁なのですから。

★愛の反対は憎しみではなく、無関心である。



★笑ってあげなさい。

笑いたくなくても笑うのよ。笑顔が人間に必要なの。

★日本人はインドのことよりも、日本の中で貧しい人々への

配慮を優先して考えるべきです。愛はまず手近なところからはじまります。

マザーテレサ名言集より

1910/8/27～1997/9/5

インドのカルカッタのスラム街で宗派を問わずすべての貧しい人の為、病弱な人の為、見捨てられた人、家のない人の為に働いた。

1969年ドキュメンタリー映画化。

1979年ノーベル平和賞受賞。そのすべてを施設へ寄付。

2016年9月4日フランシスコ教皇により列聖された。

令和3年(2021年)谷山教会8月の予定と祝日表(8月1日～8月31日)

日時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会	
1日(日)	記念日 6:30&9:00	聖アルフォンソ・リゴリ司教教会博士 年間第18主日 ベトナム人ミサin谷山14:00～	⑥⑦			
2日(月)	6:30	朝ミサ アルフォンソ祭は、コロナ禍の為中止	今月の 当番班は 4班です			
3日(火)	6:30	朝ミサ				
4日(水)	記念日 19:00	聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭 召命ミサ				
5日(木)	6:30	朝ミサ				
6日(金)	祝日 19:00	主の変容 *日本カトリック平和旬間15日まで 初金ミサ				
7日(土)	19:00	年間第19主日のミサ(泉神父様)			⑧⑨	教会
8日(日)	9:00	年間第19主日(霧島神父様)		⑧⑨		
9日(月)		朝ミサなし		*主任司祭・徳之島訪門 七日～三日まで不在 朝ミサ・召命ミサなし		
10日(火)	祝日	聖ラウレンチオ助祭殉教者 朝ミサなし				
11日(水)	記念日	聖クララおとめ 召命ミサなし				
12日(木)		朝ミサなし				
13日(金)		朝ミサなし				
14日(土)	記念日 19:00	聖マキシミアノ・マリア・コルベ司祭殉教者 年間第20主日のミサ			⑩	教会
15日(日)	祭日 9:00	聖母の被昇天 年間第20主日 キリスト教伝来記念祭10:00～ ザビエル教会 申し込み必要	⑩			
16日(月)	6:30	朝ミサ				
17日(火)	6:30	朝ミサ				
18日(水)	19:00	召命ミサ				
19日(木)	6:30	朝ミサ				
20日(金)	記念日 6:30	聖ベルナルド修道院長教会博士 朝ミサ				
21日(土)	記念日 19:00	聖ピオ十世教皇 年間第21主日のミサ		①	教会	
22日(日)	6:30&9:00	年間第21主日 ミサ後司牧評議会(司会4班)	①			
23日(月)	6:30	朝ミサ				
24日(火)	祝日 6:30	聖バルトロマイ使徒 朝ミサ				
25日(水)	19:00	召命ミサ				
26日(木)	6:30	朝ミサ				
27日(金)	記念日 6:30	聖モニカ 朝ミサ				
28日(土)	記念日 19:00	聖アウグスチヌス司教教会博士 年間第22主日のミサ		②③	教会	
29日(日)	6:30&9:00	年間第22主日	②③			
30日(月)	6:30	朝ミサ				
31日(火)	6:30	朝ミサ				

□ザリオの祈り	毎週(火) 10:00～	3, 10, 17, 24, 31日
レジオ・マリエ	毎週(水) 14:30～	4, 11, 18, 25日
聖書と教理-Ⅱ	毎週(金) 10:30～12:00	6, 13, 20日

★司牧評議会のテーブル、椅子の設営は、前日の土曜日の掃除当番班にお願いします。(今月は1班です)